

ノウゴウイチゴ バラ科

Fragaria iinumae Makino

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省： -

選定理由 減少顕著，生育環境悪化，採取圧，局限・孤立，分布限界，遺存性，希少性。

生態・形態 通常は亜高山～高山の草地に生育する多年生草本。県内では大山の稜線部の安定岩礫地に生育する。遺存植物。匍匐枝は長く地表を這う。葉は根出，3出複葉，小葉は倒卵形，鈍頭，粗歯牙縁，伏毛があり，下面は粉白色。花は6～7月，白色，8花弁。果実は赤熟，美味。和名は岐阜県能郷の地名に由来。

分布 北海道，本州亜高山～高山帯。

(県内) 大山。分布西限。

保護上の留意点 厳重な採取防止。大山山頂部，稜線部の岩礫地保護。

